

YMCAせとうち

AUG 20-22



YMCAせとうち 西日本豪雨災害支援 2023

倉敷フォレストスターズキャンプのご報告

参加者：キャンパー57名（真備町19名、平島1名、岡山23名、福山14名）

リーダー18名／スタッフ2名

クラウドファンディングによる寄附支援：120万円

【活動報告】

8月20日から22日まで倉敷市自然の家を会場に「倉敷フォレストスターズキャンプ」を実施しました。今回のキャンプは、岡山、福山のこどもたちに加えて、2018年に起こった西日本豪雨で被害を受けたこどもたちを招待するキャンプでもありました。

【1日目／8月20日】

岡山駅、福山駅、吉備真備駅の3カ所に分かれて集合し、それぞれが倉敷市自然の家を目指しました。真備町からのバスが1番早く到着。続いて、岡山・福山のこどもたちが現地に着きました。そしてキャンプで過ごす生活グループが再編成され、グループのこどもたちとリーダーが初めて全員揃って顔を合わせるようになりました。緊張しているこどもたちも、早くキャンプに慣れるように、「アイスブレイク」という緊張をほぐして気持ちが前向きになる時間にしました。歌を歌ったりお互いの名前を覚えたり、グループ対抗のゲームをしたり。その後でみんなが今回泊まるお部屋に行きました。午後の時間は「グループタイム」です。グループタイムは学年や性別で分けたグループごとに、何をして遊ぶのかを相談し、「やりたいこと」を実現していく時間です。





【主なグループタイムの内容】

- ・自然の家の竹林から竹を切ってきて、コップや箸作りに挑戦。
- ・森の中で基地作り。
- ・森の中で手作りブランコを作って遊ぶ。
- ・ドラム缶水風呂あそび。
- ・坂滑り

この他にもグループで考えた遊びを楽しんでいました。

入浴、夕食の後はキャンプの夜のお楽しみ、キャンプファイヤーの時間。キャンプファイヤー用に積み上げられた薪に火が灯ると、みんなのテンションも上がります。ゲームをしたり歌を歌ったり、思いっきり踊ったり。そうしているうちに、ホームシックも忘れて楽しい気持ちのままベッドに行くことができました。

【2日目／8月21日】

午前中の活動は、キャンプのみんなですべてで野外炊事でカレー作り。ただし、スペシャルトッピングが用意されていて、チーム対抗ゲームの順位によって選べるようにしました。

スペシャルトッピングの中身は、

- ・ハンバーグ
- ・唐揚げ
- ・じゃがりこ
- ・ポテトチップス
- ・夏野菜いろいろ
- ・納豆
- ・マッシュマロ

などなど。全部で10種類ありました。野菜を切る人、薪を割る人、森の中から落ち葉や枝を拾ってくる人、かまどに火を起す人。





グループの中で役割を決めて、みんながみんなのために汗を流す。言われたからやるのではなく、自分で決めてやる。学年の大きな子どもたちが、小さな子どもたちを手伝う。そんな優しい時間と空間がありました。

「普段からお家で料理するの？」

「家ではせん。」

「私は時々するよ。」

「じゃがいもの大きさはこのくらいでいいと思う？」

「その半分ぐらいがいいんじゃない？」

「うちのじゃがいもはこれより大きいよ。」

そんなやり取りをしながら、手を動かし、頭を働かせてカレーを作っていました。

「このトッピングと物々交換しない？」

「え？いいの？」

「じゃあこれもあげるよ。」

「わたしたちも交換しようよ。」

「それいいね。」

少しずつ交換していくことで、みんなのカレーの中身が段々豊かになっていきました。

カレーが出来上がり、グループごとに「いただきます！」

「納豆がめっちゃくちゃ美味しい！」

「このトッピングは当たりだったよ。」

「チョコレートが意外に美味しいね。」

みんなの嬉しそうな声があちこちから聞こえてきました。



午後の時間は2回目のグループタイムでした。

【主なグループタイムの内容】

- ・ウォータースライダー
- ・ドラム缶水風呂あそび
- ・竹を使ったクラフト
- ・流しそうめんのトイ作り
- ・秘密基地作り

などなど。

このキャンプ最後の夜もグループタイムでしたが、昼間とは違った夜の過ごし方を、グループごとに工夫していました。たとえば女子のグループでは、自分たちで手作りのキャンドルランタンを作り、それに火を灯して夜の森でナイトハイクをしていました。キャンドルの灯りはとても幻想的で、心に残る情景でした。

【主なグループタイムの内容】

- ・キャンドルランタンを持ってナイトハイク
- ・花火
- ・プラネタリウム作り
- ・夜の森の探検
- ・流しそうめん
- ・おやつ（ポップコーン）作り

などなど。

【3日目／8月22日】

キャンプ最終日になりました。これまではキャンプの全員で活動する場合と、グループで活動する場合があります。しかし今回は、4つの活動を自分で選ぶ「フリーチョ



イス」という形式にしました。そのため、いつものグループを一旦解体し、子どもたちが参加したい活動ごとのまとまりを作り直しました。

【フリーチョイスの内容】

①ボディペインティング

人体に害の少ない「指絵の具」を使って、手や足、顔にペイントして遊びました。模造紙に手形や足形をプリントしたり、お互いの顔にペイントしたり。そのうちそれだけでは物足りなくなり、ホースを使って水かけ祭りに発展しました。

②焼き杉

杉の板の両面を炙り、黒くなったものを磨き上げてペイントするものです。キャンプではオーソドックスなクラフトです。この板にキャンプの日付や思い出、友達の名前を書いて、お部屋に飾ります。手や顔にススが付いたりもしましたが、黒光りするほどきれいに磨き上げた板を前に、「何を描こうかな、、、。」と考え込む人も。素敵な逸品ができました。

③竹クラフト（弓矢作り）

一番人気だった弓矢作り。適当な太さになるまでナタで竹を割り、弦となる紐をくくりつけ、矢を作る。ノコギリやナタ、サンドペーパーなど様々な道具を上手く使いこなして作っていきます。出来ないところはリーダーに手伝ってもらい、やっと「自分の弓矢」が完成しました。

④みんなのおやつ作り（バームクーヘン）

みんな大好きバームクーヘンを、手作りしました。生地を作り、炭に火を起こし、竹に生地を塗って焼き上げる。生地をお玉でかける人、竹の棒をくるくる回す人、歌を歌ってみんなを励ます人。それぞれがそれぞれのやることを考えて、自分にできることで貢献していきました。しかし残念ながら火の通りが悪かったらしく、切ってみると半生だったために食べることは出来ませんでした。次回は上手くできるように頑張りましょうね。

このように、学年も性別も関係なく、自分がしたいことを選んで挑戦できるのがフリーチョイスの楽しさ。キャンプのみんなが混ざりあい、1つになっていくようでした。





(チーフリーダー) トトリーダー

参加したメンバーみんなで、今回の倉敷フォレストーズキャンプを作ることが出来て、私自身とても幸せでした。キャンプが終わり、時間がたった今でもたくさんの思い出がよみがえってきます。岡山・福山・真備・平島とそれぞれの場所から集めたこどもたちが、一緒に集った仲間とともに過ごす中で、最初は緊張した面持ちだったこどもたちやリーダーも、最後には笑顔がたくさん見られただけでなく、涙を流すこどもたちもいて、このキャンプでたくさんのかんじてくれたんだというのが伝わってきました。

最初はグループの中で広がっていった「楽しい」という思いが徐々に全体に広がり「みんなで過ごす時間が楽しい」になっていく瞬間をキャンプ中、何度も目にしました。最初はグループごとに作っていたカレーも、気づけば食材を交換するためにいろんなグループと関わっていたり、薪割りを手伝ったりと輪が広がっていました。倉敷市自然の家という自然いっぱいのフィールドの中で、思い思いに遊びを発展させ、その遊びの中でお友達やリーダーと関わり合い、笑いの絶えない時間を過ごしたことが、いつまでもたっても思い出になっていればこれ以上幸せなことはありません。私にとっても忘れることが出来ない大切な宝物です。

キャンプはどうしても終わってしまいます。楽しい時間が終わってしまい、もう同じメンバーと会うことが出来ないかもしれないのはとても寂しいです。でも、キャンプがあったからこそ日常も楽しくなる、大変なことがあっても頑張れると私は信じているので、離れていてもそれぞれの場所で輝き続けてほしいと思います。キャンプに来てくれてありがとうございました。みんなと出会えたことが本当に嬉しいし、3日間でみんなからももらったたくさんの愛や思い出は私にとって宝物です。またどこかでみんなに会えることを楽しみにしています。



チーフリーダー：トトリーダー

(キャンプディレクター所感) 白鳥雅人

2023年度倉敷フォレストーズキャンプを実施するに当たりご支援くださいました皆様に心より感謝いたします。

2018年7月に西日本豪雨災害が起こり、その年の9月に最初のリフレッシュキャンプを余島野外活動センターで実施してから5年が経ちました。その間も毎年リフレッシュキャンプやデイキャンプを行ない、倉敷市真備町や岡山市平島の子どもたちを招待してきました。今回は、毎年行なっている倉敷フォレストーズキャンプに、災害を経験した20名の子どもたちを招待して実施しました。この実施のために、5～6月にはクラウドファンディングで寄附を募りましたが、災害から5年が経ち、少しずつ記憶が薄れるのと同時に、毎年新たな災害が各地で起こっていることもあり、当初は中々結果が出ないということもありました。しかし一方で、今もあの災害を経験した方のことを心に留め、祈ってくださる方がたくさんいてくださることも知りました。

締め切り前日に第一目標の100万円をクリアした後、締め切り直前には第二目標の120万円もクリアすることが出来ました。多くの企業、団体、個人の方からご支援をいただき、今回のキャンプが実施できました。改めてありがとうございました。

「キャンプはその人の人生をも変えることがある。」と言われます。キャンプは遊びという形を取りながらも、その中に数多くの教育的アプローチを含んでいます。その中の1つは、YMCAと倉敷市自然の家が大切にしているゴールデンルールです。

「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなた方も人にしなさい。」(聖書：マタイによる福音書7章12節)
今回のキャンプでも、子どもたちにゴールデンルールについてのお話をしました。

■自分がしたことで誰かが喜んでくれる。■その喜ぶ顔を見ると、私も嬉しい気持ちになる。

■自分が誰かの笑顔を作り出す事ができる。■私は誰かの役に立っている。

私達YMCAは、この連鎖がつながっていくことで、世界がより良く変わっていくと考えています。しかしその変化も、初めは1人ひとりが変わっていくことでしか始まりません。だから、まずはYMCAのキャンプに来てくれた子どもたちや、自然の家を利用してくれた人たちから変わることで、この社会をよりよく変革していきたいと考えています。

キャンプ中はリーダーのお手伝いをしてくれる子どもたちがたくさんいました。

「この荷物を誰か運んでくれたら嬉しいんだけど。」

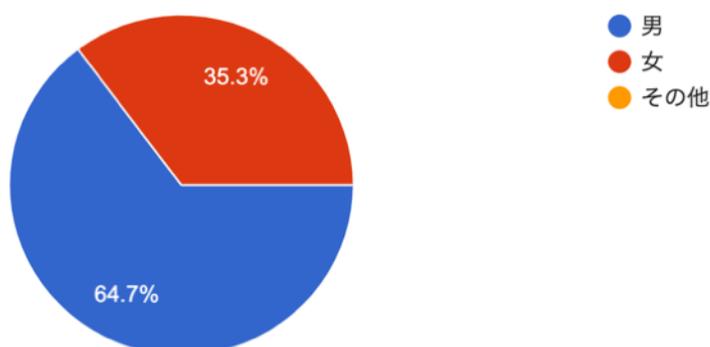
というリーダーの言葉に応えてくれる子どもたちがたくさんいました。リーダーが何かを言わなくても、食事の配膳を手伝ってくれる子どもたちもいました。キャンプが終わった後、日常生活でも続いていってくださることを期待しています。そして誰かの喜びが自分の喜びになる。誰かの痛みを自分の事として共に涙する。そんな人に成長してくださることを願っています。

今後も引き続きお支えいただければ幸いです。

招待参加者とその保護者からのアンケート結果

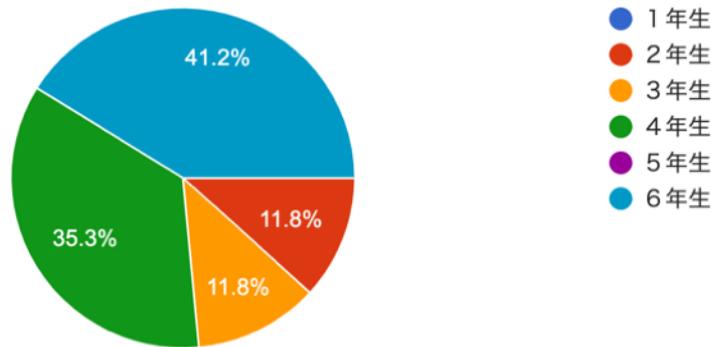
性別

17件の回答



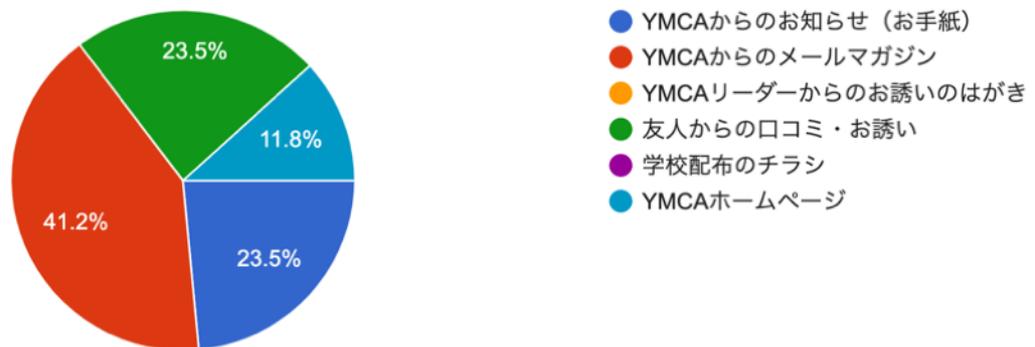
学年

17件の回答



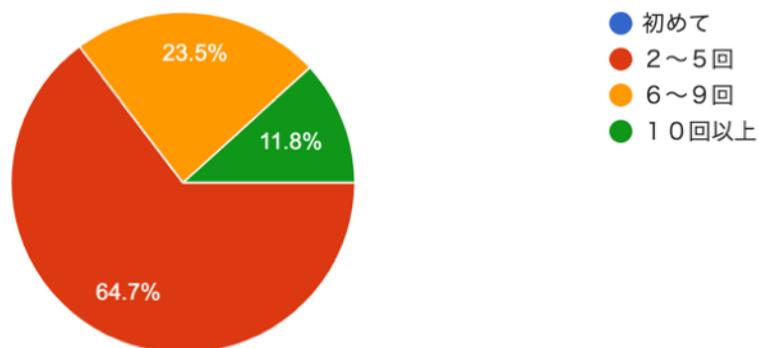
今回のキャンプ申込みの決め手はなんですか。

17件の回答



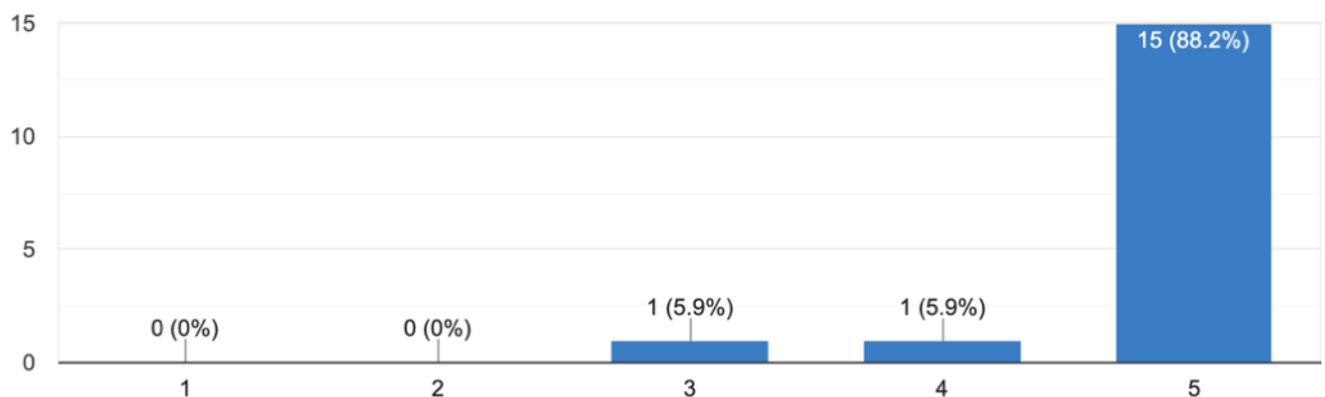
今まで、YMCAの活動に参加した回数を教えてください。

17件の回答



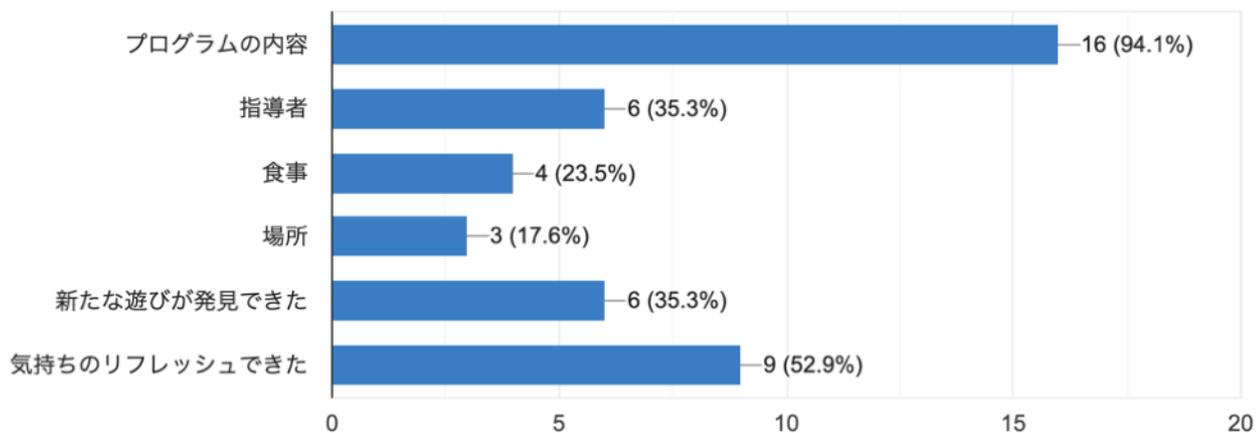
今回のキャンプのお子さんの満足度を教えてください。

17件の回答



その理由は何ですか？（複数選択可）

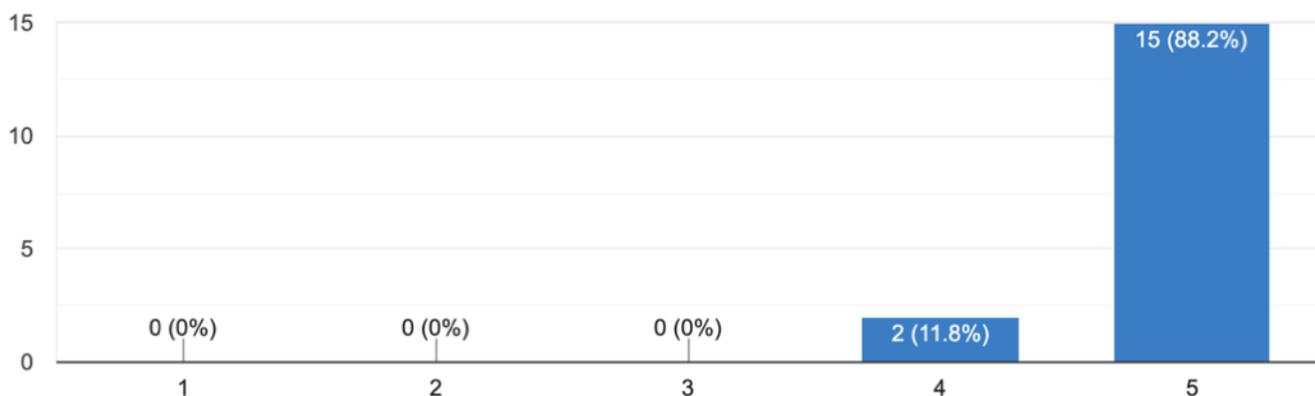
17件の回答



- ・二泊できてたくさん遊べました。フリーチョイスでいろんな人と関わりました。
- ・リーダーともたくさん遊ぶことができて楽しかったです。
- ・仲が良い友達と一緒に過ごせたこと
- ・友達と水遊びをしたり、ごはんを作ったりして楽しく遊べたから。
- ・ご招待いただいて4回目の参加です。
- ・本人は少し人見知りですが、リーダーの皆様が気さくに声をかけてくださり、安心して参加させていただいています。
- ・普段できないような活動で(野外炊事、キャンプファイヤー、林で思いっきり遊ぶ等)心揺さぶられる体験ができて、たくましくなって帰ってきているからです。
- ・とにかく3日間最高に楽しかった様です。
- ・普段親だけでは経験させてあげられないようなことを、キャンプに参加させて頂いて経験できてとてもありがたいと思います。

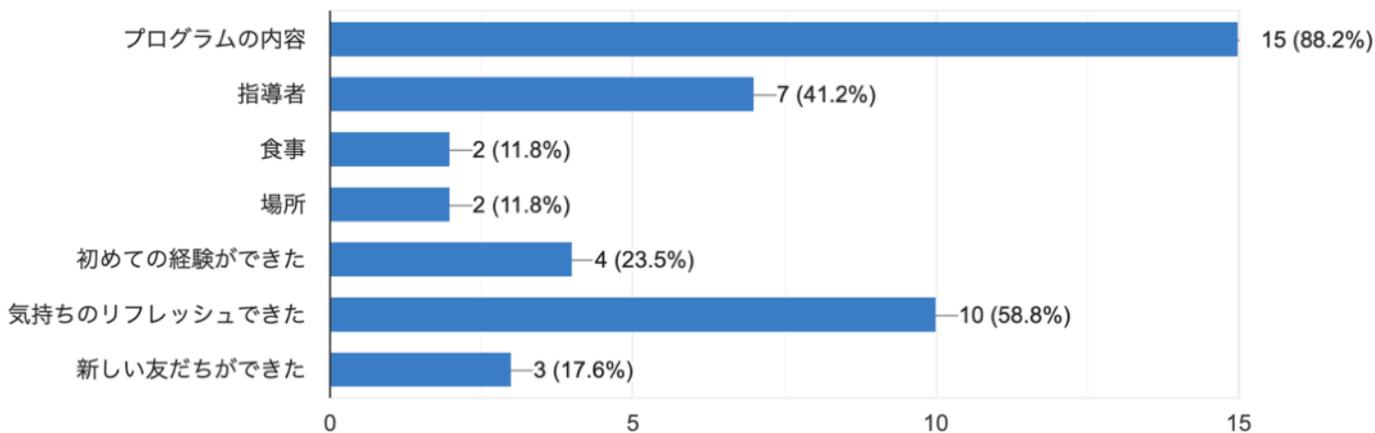
今回のキャンプの保護者の満足度を教えてください。

17件の回答



その理由は何ですか？（複数選択可）

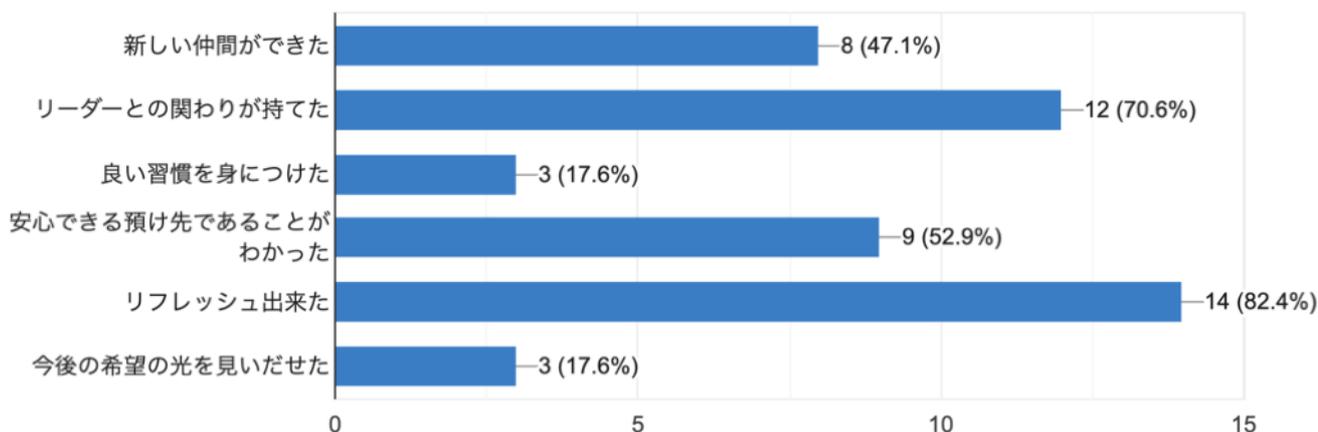
17件の回答



- ・「親から離れてキャンプに参加」なんて大冒険は、このような機会では体験できません。
- ・貴重な夏の思い出になったに違いありません。ありがとうございました。
- ・盛りだくさんのイベントで、色々な経験をさせてもらったと思います。リーダーの存在が大きいと思っています。
- ・生き生きとした表情で帰ってきたので。
- ・親の夏休み中の疲れを取れました。
- ・親元を離れる事で、普段得られない経験ができた。
- ・二日間友達と思い切りあそんだこと。
- ・子どもを安全に引率してもらえたから。
- ・自然を思いっきり満喫でき、学年をこえて一緒に遊ぶことができる環境に魅力があります。
- ・リーダーの方々皆さん、とても素敵な笑顔で安心して任せられるなあと感じます。
- ・新しい友達ができたとや、グループで協力して活動できたことなどが、本人の自信につながっていくのでとてもいい経験になったと思います。
- ・娘に素晴らしい体験をさせて頂いて感謝感激です！

プログラムに参加させて良かった、と思う事は何ですか？

17件の回答



- ・二泊三日思いっきり遊んでリフレッシュできたみたいです。キャンプの様子を解散のときに教えていただけるのがとても良いなと思います。
- ・数年前にお世話になったリーダーとの再会や、知っているリーダーがいて安心した様子でした。リフレッシュできました。
- ・友達やリーダーとのかかわりがリフレッシュになったとおもいます。
- ・卒業されたリーダーの事も、よく覚えており、初めて触れ合うリーダーとも共通のお友達のような感覚でぐっと距離が近づいたようです。歴代のリーダーからの修了証は彼の大切な宝物となっています。
- ・用意も自分で行うなど成長を感じられました。
- ・自然の中で友達と一緒に思い切り活動する事ができた
- ・貴重な体験ができたのが良かった。
- ・新しい友達ができたことや、グループ活動で協力してできたことは本人の自信にもつながるとてもいい経験になりました。
- ・リーダーの方々、皆さん素敵で頼りがいがあって安心して任せられます。
- ・親もリフレッシュ出来ました！

今後、YMCAのプログラムがあれば参加させたいですか？

17件の回答



【保護者の声】

初めてYMCAの招待キャンプに参加させて頂いたのは、息子が小学2年生の時でした。初めて親元を離れ、その間全く連絡をとれない中での2泊3日は、子供以上に親にとっても大きな挑戦だったように思います。子供たちが乗り込んだバスを見送った瞬間から、心配と不安と寂しさに襲われ、「これは、私たち保護者に与えられた子離れという大きな試練なのかもしれない...と強く感じたのを思い出します。

あれから4年が経過しました。その間何度かキャンプに参加させて頂き、今では私も不安な思いをすることなく（もちろん全く心配していない訳ではありませんが）、笑顔で子供達を送り出せるようになりました。なぜなら、子供たちが毎回とってもいい顔をして帰って来るのを見ているからです。このたびは、貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

YMCAからキャンプの案内が来ると、「絶対に申し込んでね」「忘れるといけないから、今、申し込んで！」と言われます。今まで、数回キャンプに参加させて頂いているのですが、毎回色んな思い出を作っているようです。今回も、キャンプから帰ってきて、カレーが美味しかったよ！ウォータースライダーでお尻打った！弓を作ったよ！大富豪した！など、次々に話してくれます。そして、「あ〜つかれた！ヘトヘト」と言ってとってもいい顔で笑います。また、リーダーとあんなことした、こんなこと言ってた！と楽しそうに話してくれます。リーダーは、楽しくて頼りになっておもしろいととても身近な存在なのだなと感じます。

二泊三日たくさんの楽しい企画を用意してくださり、ありがとうございました。

いろんなことに追われる毎日ですが、キャンプの間、親も少しゆっくりリフレッシュ出来ました。

被災後すぐ1年生のときから参加させていただいています。毎回本当に楽しんで帰ってくる子どもの姿が親としても嬉しいです。スケジュールや準備などいろいろ大変ですが、きめ細かい対応のお陰で安心安全にキャンプ生活を過ごすことができました。キャンプ出発前も子どもたちに明るく接してくれて、緊張気味なこどもたちを和ませてくれてありがたかったです。きっと現地でも声を常にかけてくれているんだなと感じています。解散の際は、事細かくキャンプ生活のこと、子どもたちの様子を伝えてもらい何をしたのかがとてもよく分かりました。家にかえると、兄弟でキャンプ中の歌を合唱していました。とても楽しそうでした！！

被災から5年がたちましたが、現在もまだ真備の子供達をキャンプに招待して下さりとてもありがたい気持ちでいっぱいです。被災の時1年生でしたが、当初からYMCAのキャンプに参加させてもらい子供達は毎回大満足で帰ってきています。子供達の心のケアまでなかなか気が回らない中、楽しんで帰ってきてくれて本当に嬉しく思っています。

キャンプでは野外炊飯をしたり、外で水遊びをしたり、キャンプファイヤーをしたり、秘密基地を作ったりと聞いていても楽しそうや内容で、良い経験をさせてもらっているなと思います。リーダーのみなさんもとても優しく接して下さり、いつも安心して子供達を預けることができます。今まで貴重な体験をたくさんさせていただいて本当にありがとうございました。

貴重な体験をさせて下さり目に見える心の成長を感じさせて下さり、ありがとうございました。5年前の水害では、まさに途方に暮れるという言葉に尽きる経験でした。更に、水害からの復旧が終わるか終わらないかのうちにそのままコロナ禍が始まってしまい、この5年間はどこか通常では無い状態で過ごしてきたと思います。

娘も小学校入学直前に水害に遭い、その後コロナによる自粛などもあって入学当初から様々な制限化の中で学校生活を送っていました。今年に入りやっと終息の兆しが見え、入学してから初めての「通常通りの夏休み」だったように思います。今回のキャンプに参加させて頂いた事で、その夏の最高の思い出ができたと思います。

この度はYMCAのキャンプに招待していただき、ありがとうございました。

5年経った今でも災害地域のその後を気にかけてくださる方々がいて、とても心強く感じます。

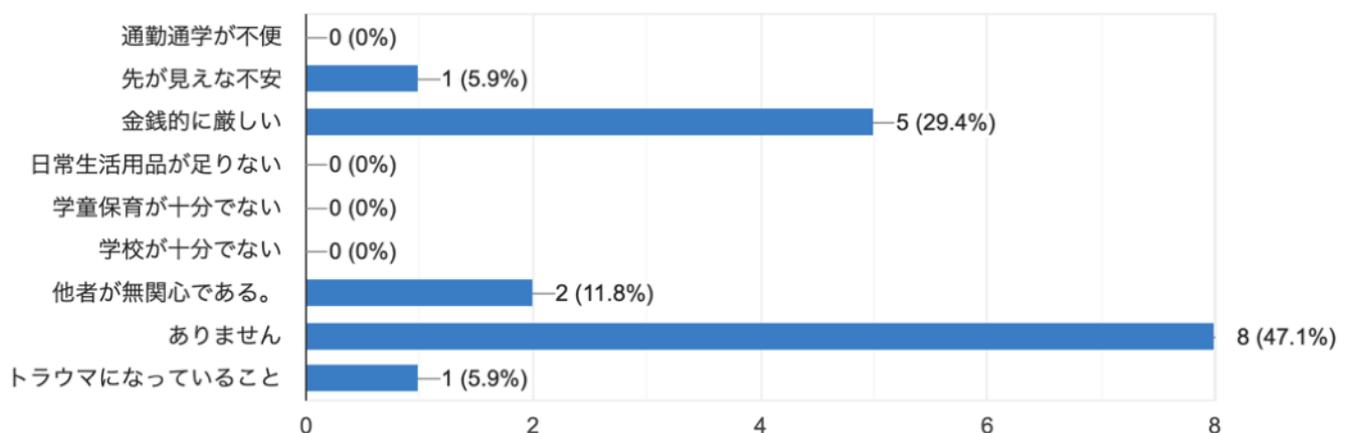
本当にありがとうございました。

招待支援して頂いて、とてもありがたく思います。

とても楽しかったようで、特に水遊びとプラネタリウムが印象に残ったようです。本当に有難うございます。もし可能でしたら、親同行のキャンプの企画があったら嬉しいです。

西日本豪雨が起って5年が経ちましたが、今の生活でお困りごとあればお選びください。

17件の回答



【その他の声】

・西日本豪雨から5年経っても、このように無料でキャンプに参加させてもらい感謝の気持ちでいっぱいです。我が家は真備に帰って来てまだ1年半ほどです。真備に戻るのが遅かった分、親の余裕もなく子どもには負担をかけたと思っております。キャンプがあっただけよかった！本当にありがとうございました。

・ご招待頂いた時しか参加していないにも関わらず気持ちよく受け入れて下さりありがとうございます。